



I 調査の目的・方法等

(1) 調査目的

本調査は、男女共同参画社会の実現に向けて、県民の意識と実態等を調査・集計した結果を分析し、ウイメンズパワーアップ会議からの提言に基づき、女性が輝く社会づくりの実現に向けた施策を推進するために実施したものである。

また、「茨城県男女共同参画基本計画（第2次）いきいき いばらきハーモニープラン」の計画期間が平成27年度末で終了するため、次期計画策定のための基礎資料とする。

(2) 調査対象

本調査の対象者は、茨城県在住の20歳以上の男女である。抽出方法は、層化二段抽出法を用いた。県内市町村を地域別に区分し、20歳以上の人口を順に並べ替えて等間隔で抽出し、さらに、抽出した市町村の人口規模に応じて対象者数を配分し、各市町村の住民基本台帳に基づき、対象者数を等間隔に抽出（無作為抽出）した。抽出数は4,000（男性2,000、女性2,000）である。

(3) 調査方法

調査方法は、郵送調査法（郵送配布・郵送回収）を用い、調査期間は平成27年2月1日から2月20日までとした。

■抽出の構成

	実数 (人, %)				有効回答 (票, %)				回答と実数の差 (%)	
	男性		女性		男性		女性		男性	女性
総数	2,388,258				1,082				-	-
	1,180,645	49.4	1,207,613	50.6	501	46.3	580	53.6	-3.1	3.0
20~24	73,638	6.2	63,932	5.3	10	2.0	15	2.6	-4.2	-2.7
25~29	75,755	6.4	66,922	5.5	23	4.6	23	4.0	-1.8	-1.6
30~34	86,803	7.4	78,967	6.5	25	5.0	42	7.2	-2.4	0.7
35~39	100,558	8.5	91,991	7.6	29	5.8	32	5.5	-2.7	-2.1
40~44	113,445	9.6	105,100	8.7	44	8.8	54	9.3	-0.8	0.6
45~49	97,584	8.3	92,078	7.6	33	6.6	47	8.1	-1.7	0.5
50~54	89,355	7.6	86,930	7.2	38	7.6	45	7.8	0.0	0.6
55~59	94,921	8.0	93,532	7.7	49	9.8	65	11.2	1.7	3.5
60~64	112,437	9.5	113,383	9.4	77	15.4	62	10.7	5.8	1.3
65~69	106,678	9.0	109,120	9.0	61	12.2	71	12.2	3.1	3.2
70歳~	229,471	19.4	305,658	25.3	112	22.4	124	21.4	2.9	-3.9
年齢	1,180,645	100.0	1,207,613	100.0	501	100.0	580	100.0	0.0	0.0
県北	251380	21.3	258442	21.4	111	22.2	118	20.4	0.9	-1.0
県央	185085	15.7	197751	16.4	85	17.0	116	20.0	1.3	3.7
鹿行	113139	9.6	110634	9.2	42	8.4	43	7.4	-1.2	-1.7
県南	403607	34.2	409584	33.9	165	32.9	192	33.2	-1.3	-0.8
県西	227434	19.3	231202	19.1	98	19.6	110	19.0	0.3	-0.1
地域	1,180,645	100.0	1,207,613	100.0	501	100.0	579	100.0	0.0	0.0

実数は、平成26年10月1日現在の常住人口による有効回答総数は1,111だが、表中では性別、年齢、居住地域の欄の無回答を除いた票数を示してある

■地域区分

県北		○日立市, ひたちなか市, ○常陸太田市, 那珂市, ○北茨城市, 常陸大宮市, ○高萩市
	那珂郡	○東海村
	久慈郡	大子町
県央		○水戸市, 笠間市, ○小美玉市
	東茨城郡	○茨城町, 城里町, ○大洗町
鹿行		○神栖市, 鹿嶋市, ○鉾田市, 行方市, ○潮来市
県南		○つくば市, 土浦市, ○取手市, 牛久市, ○龍ヶ崎市, 石岡市, ○守谷市, つくばみらい市, ○稲敷市, かすみがうら市
	稲敷郡	○阿見町, ○美浦村, 河内町
	北相馬郡	利根町
県西		○古河市, 筑西市, ○常総市, 坂東市, ○結城市, 桜川市, ○下妻市
	結城郡	八千代町
	猿島郡	○境町, ○五霞町

○：抽出市町村

平成26年10月1日現在

(4) 調査項目

■ あなたご自身について		A	B
F 1	性別はどちらですか。	—	—
F 2	年齢（平成27年1月1日現在）をお答えください。	—	—
F 3-1	あなたの職業はどのような内容ですか。	—	—
F 3-2		—	—
(1)	そのお仕事は常勤ですか。パートタイムですか。	—	—
(2)	あなたの職名は何ですか。	—	—
F 4-1	あなたは結婚されていますか。	—	—
F 4-2	あなたの配偶者の職業はどのような内容ですか。	—	—
F 5-1	あなたにはお子さんがいますか。	—	—
F 5-2	一番下のお子さんは、現在次のどれに該当しますか。	—	—
F 6	お宅には、現在介護を必要とする高齢者の方はいますか。	—	—
F 7	現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに該当しますか。	—	—
F 8-1	あなたが現在お住まいの市町村を○印で囲んでください。	—	—
F 8-2	あなたのお住まいの地域は次のどれに該当すると思いますか。	—	—
■ 男女の地位の平等に関する意識について			
問1	次にあげる8つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。	○ _{※1}	○
問2	社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。	○ _{※1}	○
問3	今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要と思うことは何ですか。		○
■ 男女の生き方や家庭生活などに関する考え、役割分担等について			
問4	結婚や子どもを持つことについてどう思いますか。		
問5	次にあげる男女の生き方や家庭生活などに関する考えについてどう思いますか。		○
問6	掃除や洗濯などの家事等を主に誰が分担していますか。また、家計費の管理等について最終的に決めているのは誰ですか。		○
問7	「男性は仕事、女性は家庭」という考えがありますが、あなたはこの考えに同感しますか。	△ _{※2}	○
問8	次にあげるア～ウについて、あなたはどれくらい時間をかけていますか。		○
問9			
(1)	あなたの理想とする子どもの数は何人ですか。		○
(2)	実際の子どもの数（又は実際に子育てできると思う数）は何人ですか。		○
(3)	その理由は何ですか。		○

■ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について		A	B
問 10	「仕事」，「家庭生活」，「地域・個人の生活」の状況について、理想はどうあるべきだと思いますか。また、実際はどうですか。	△※1	○
問 11	お子さんがいる方にうかがいます。 「男性へ」実際にあなたの働き方に近いものはどれですか（どれでしたか）。 「女性へ」あなたの配偶者の働き方に近いものはどれですか（どれでしたか）。		
問 12	父親の働き方と子育てについてどう思いますか 「男性へ」あなたに、子どもがいる場合どのような働き方をしたいですか（したかったですか） 「女性へ」あなたの配偶者にどのような働き方を希望しますか（したかったですか）		
問 13	男性が女性とともに家事，子育て，介護，地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。	△※1	○
■ 就業について			
問 14	就業についてうかがいます。		
(1)	仕事をこなす能力に男女差はあると思いますか。		○
(2)	男性向き，女性向きの仕事内容はあると思いますか。		○
問 15-1	職場における男女の地位は平等になっていると思いますか。	○※1	○
問 15-2	その具体的な内容はどのようなことですか。		○
問 16-1	あなたは途中で仕事を辞めた経験がありますか。		○
問 16-2	仕事を辞めた主な理由は何ですか。		○
問 16-3	仕事を辞めたあと，再就職しましたか。		
■ 地域活動について			
問 17-1	現在，町内会やボランティア活動などの地域活動をしていますか。		○
問 17-2	それはどのような活動内容（分野）ですか。		○
問 17-3	地域活動をすることについてどう思いますか。		○
■ ドメスティック・バイオレンス（配偶者・恋人等からの暴力）について			
問 18-1	配偶者（元配偶者も含む。）や恋人から暴力を受けた経験はありますか。		○
問 18-2	それはどのようなことですか。		○
問 18-3	誰かに打ち明けたり，相談したりしましたか。		
問 18-4	あなたが相談した人（場所）を教えてください。		
問 18-5	相談して問題は解決しましたか。		
問 18-6	あなたが誰（どこ）にも相談できなかったのはなぜですか。		

■ 男女共同参画社会について		A	B
問 19	次にあげる言葉や施策等の中で、あなたが見たり聞いたりしたことがありますか。	○※ ₁	○
問 20	男女共同参画社会を実現するためには、県や市町村は今後どのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。	○※ ₁	○
問 21-1	県の男女共同参画を推進する施設「女性プラザ男女共同参画支援室」をご存知ですか。		○
問 21-2	県の鹿行生涯学習センター・茨城県女性プラザ「レイクエコー」をご存知ですか。		
問 21-3	あなたは、男女共同参画を推進するための拠点施設に対して、どのような役割を期待していますか。		○

※A = 男女共同参画社会に関する世論調査 (※₁: 平成 24 年 10 月/内閣府大臣官房政府広報室), 女性の活躍推進に関する世論調査 (※₂: 平成 26 年 8 月/内閣府大臣官房政府広報室),
 B = 茨城県男女共同参画社会県民意識調査 (平成 22 年 3 月)

※○はほぼ同じ内容あり。△は類似する内容あり。

(5) 回収状況

対象 4,000 票に対し、回収された調査票は 1,111 票である。無効票（すべてが無回答）は無かったため 1,111 票（男性 501, 女性 581, 性別不明 29）を有効回答票とした。有効回収率は 27.8%（男性 25.1%, 女性 29.1%）である。

■有効回収率

項目	票・%	備考
発送	4,000	a (男女各 2,000)
調査不能 (未着)	26	b
回収数	1,111	c
無効 (データ欠損)	0	d
有効回答数	1,111	e=c-d
男性	501	f
女性	581	g
性別不明	29	
有効回収率	27.8%	e/a
男性	25.1%	f/2,000
女性	29.1%	g/2,000

(6) 本報告書を読む際の留意点

- 単純集計結果は、比較設問があるものについて、「女性の活躍推進に関する世論調査（平成 26 年 8 月/内閣府大臣官房政府広報室）」又は「男女共同参画社会に関する世論調査（平成 24 年 10 月/内閣府大臣官房政府広報室）」と全国・地域の比較、「茨城県男女共同参画社会県民意識調査（平成 22 年 3 月）」と時系列比較を行っている。
- グラフ中の「SA」は単数回答の、「MA」は複数回答の集計結果を表し、「n=〇〇」はサンプル数を表す。グラフ内数値や表の単位は、特に断りのない限り「%」である。
- 本文グラフ及び表では「無回答」を含んで集計した。
- 単数回答の単純集計結果を表す本文グラフの中で、百分率の内訳数値は、四捨五入の結果、合計が 100.0 にならない場合もある。
- 複数回答の集計結果を表すグラフまたは集計表の場合、「%」は選択肢の構成比を表すものではなく、回答のあったサンプル数に対する割合を示している。
- 本文中コメントでは、およその傾向を概括するために「〇割」と「〇%」という表現を併用している。設問の選択肢を引用する場合は、省略して表現している場合もある。
- その他の選択肢のある設問については、代表的回答を掲載した。
- 自由回答式の設問については、原則として回答者の記入したとおりに引用・掲載しているが、明らかな誤字・脱字等については修正してある。